



SAP Ariba 

機能の概要

コントロール有効性のレベルが設定可能に

Riddhi Kumar, SAP Ariba
一般提供予定: 2021 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: コントロール有効性のレベルが設定可能に

導入の難易度  ロータッチ/容易
対象エリア  グローバル

今までの課題

現在のデューデリジェンスプロセスでトリガされたコントロールは、有効とみなされる場合と無効とみなされる場合があります。この判断はバイナリベースであるため、コントロールの確認者は、どのレベルになったらコントロールを有効または無効とするのかを定義することができません。

また、リスクの軽減については、コントロールの有効性に関する詳細情報があれば、よりの確に判断および意思決定を下すことができます。たとえば、100%無効なコントロールに対して行うべき処理の種類は、有効性が80%のコントロールを管理するために必要となる処理とは異なります。現在のシステムでは、こうした情報が生成されません。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Risk

SAP Ariba で問題解決

この機能により、コントロール有効性の決定に関する5段階の値が導入されます。値の範囲が拡張されたことで、意思決定者はサプライヤのリスク軽減戦略についてより深い理解を示し、有効性の程度に基づいて適切な処理を設計することができます。

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

注: この機能は、2105 リリースではオプションとして提供されています。2202 リリースで、すべてのお客様に対して自動的に有効になる予定です。

主なメリット

コントロール有効性の5段階スケールによって、リスクをより細かく評価できるようになります。移行に関する問題への対応として、以下のような措置が講じられます。

- 既存の決定が、従来の2段階スケールから新しい5段階スケールに移行されます。
- コントロール有効性の選択に基づく問題の要件との同等性が確保されます。
 - UI およびレポートのコントロール有効性に関する決定の更新
 - 5段階スケールのコントロール有効性状況インポートの有効化

前提条件と制限事項

- サイトは、コントロールベースのエンゲージメントリスク評価プロジェクトを使用するように構成する必要があります。
- コントロールまたはサービスの有効性レベルを設定するには、サイトのコントロール定義マスターデータでコントロールの意思決定者として指定する必要があります。

機能の概要

説明: コントロール有効性のレベルが設定可能に

有効化に関する情報

この機能を有効化するには、顧客管理者がインテリジェント設定マネージャで以下の 2 つのパラメータを有効化する必要があります。

- リスクコントロールの有効性のレベルを拡張する

Application.SR.Engagement.ExpandedLevelsOfRiskControlEffectiveness)

注意: このパラメータを有効化した後は、サイト内でこのパラメータを無効化しないことを強くお勧めします。2 つのシステム間のユーザーインターフェイスとエンゲージメントワークフロー処理の動作が異なるためです。

- コントロールの確認のワークフローを有効化する

Application.SR.Engagement.EnableControlReviewWorkflow)

機能の概要

説明: コントロール有効性のレベルが設定可能に

新しい [サプライヤリスク管理] ページ

The screenshot displays the 'Supplier risk administration' menu on the left, with 'Control effectiveness options' selected and highlighted with a yellow circle containing the number 1. The main content area is titled 'Control effectiveness options' and contains a blue information box at the top stating: 'If your site allows skipping a control review, you can define up to 10 reasons. Here you can also start a background process to migrate existing control review decisions from the 2-level to the 5-level system.' Below this, there are two sections: 'Levels' and 'Skip control review'. The 'Levels' section lists five effectiveness levels: 'Completely effective' (highlighted with a yellow circle containing the number 2), 'Substantially effective', 'Partially effective', 'Substantially ineffective', and 'Completely ineffective'. The 'Skip control review' section lists four reasons: '1 Control not applicable', '2 Policy exception', '3 Risk accepted', and '4 Risk dispensed'. An 'Edit' button is located to the right of the reasons list. At the bottom of the page, there is a link 'Migrate control review decisions from 2 to 5 levels' followed by 'Learn more' and a yellow circle containing the number 3.

1. 新しいページで、[サプライヤリスク管理] > [コントロール有効性のオプション] の順に選択します。
2. リスクコントロール有効性オプションのリストが表示されます。これらはシステムで定義されている標準のオプションで、設定はできません。
3. 1 回限りの移行プロセスにより、現在レビュー/実行中のリスクコントロールすべてが以下のように変更されます。
 - [有効] -> [完全に効果あり]
 - [無効] -> [完全に効果なし]

SAP では、この機能を有効化したら、できるだけ早く移行することをベストプラクティスとして推奨しています。これにより、2 段階の有効性の値を示す以前の確認の決定で生じていたユーザーの混乱を回避できるとともに、意思決定者には新しいコントロールの確認のための 5 段階の選択肢が表示されます。

機能の概要

説明: コントロール有効性のレベルが設定可能に

処理待ちのコントロールに対する有効性レベルの設定 – エンゲージメントおよびベンダーに関するコントロール

The screenshot illustrates the process of setting the effectiveness level of a control. The control card shows the following details:

Review decision	Decision maker	Regulator mandate	Expires on
Pending	DecisionMaker	No	Apr 7, 2022
Control owner	Risk type		
Critical Data Team	test		

The 'Set effectiveness level' modal window shows the following options:

- Set effectiveness level*
- Completely effective
- Substantially effective
- Partially effective
- Substantially ineffective
- Completely ineffective

The 'Expires on*' field is set to 'Apr 15, 2020'. The 'Comment*' field contains 'Substantially ineffective control'. The 'Create issue' button is highlighted.

The second screenshot shows the control card updated to 'Substantially ineffective' with an 'Expires on' date of 'Apr 7, 2022'. The 'Assessments' tab is active, showing a list of assessments:

> Capacity Management Policy	Expires on: Apr 13, 2020
------------------------------	--------------------------

1. 確認可能なコントロールに対する新しいアクション項目: 有効性レベルの設定
2. 有効性レベルのリストから選択
3. コントロール有効性の有効期限を指定
4. 問題を作成するオプション
5. 確認済みコントロールの有効性レベル

機能の概要

説明: コントロール有効性のレベルが設定可能に

処理待ちのコントロールに対する有効性レベルの設定 – サービスに関するコントロール

ITDR check Singapore Pending

Control ID: ITDR_check_Singapore Control type: Service Supplier: A. C. NIELSEN DE COLOMBIA LTDA... Action

Review decision Pending	Decision maker DecisionMaker	Regulator mandate Yes	Expires on i Mar 31, 2021
Control owner ITDR team	Risk type test		

Services

Service ID	Service name	Modified at	Issues	Engagement	Review decision	History
43232305	Data base reporting software	Mar 8, 2021	No Issues	Multiple [2]	Pending	View history Action
43232307	Data mining software	Mar 8, 2021	No Issues	Multiple [2]	Pending	Set effectiveness level Create issue

Assessments

> Call Tree Expires on: Jan 13, 2021

1. サービスに関する確認可能なコントロールに対する新しいアクション項目: 有効性レベルの設定
2. [有効性レベルの設定] ポップアップ

Set effectiveness level ×

ITDR check Singapore (Control ID: ITDR_check_Singapore) Service ID: 43232305 (Service name: Data base reporting software)

Set effectiveness level*

Completely effective

Substantially effective

Partially effective

Substantially ineffective

Completely ineffective

Comment*

Substantially effective control

993 Characters Remaining

You can use

Create issue to document your concerns, and return here to complete your effectiveness decision

Confirm to mark the control Ineffective/Effective without a new issue

Cancel to return to the control without doing either

Create issue Confirm Cancel

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2021 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。